

学校教育目標 [もてる力を発揮しつながら響きあう児童の育成]



# 清滝っ子

豊岡市立清滝小学校

学校だより 第13号

令和5年10月18日 発行

## みのりの秋です

秋は、一年のうちでもたくさんの穀物や野菜、果物などの農作物が収穫される季節で、「みのりの秋」「収穫の秋」といった言葉もよく聞かれます。

清滝小学校の畑でも、サツマイモが大きく育ち、1年生が収穫しました。また、その隣には3年生が種をまいた大根の葉が青々と茂り、土の下の根も、大きくなっていることでしょう。

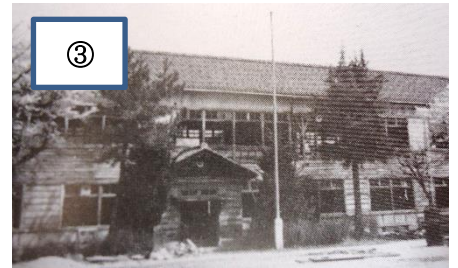
10月13日(金)には、1・2年生がりんご狩りに出かけました。秋晴れの空の下で、真っ赤に実ったリンゴをしっかりと品定めをして収穫し、一つはりんご園で食べ、お土産に二つ持ち帰りました。「みのりの秋」に感謝です。



## 清滝小学校創立記念日

### ～10月9日で創立149年になりました～

10月9日(月)は、清滝小学校の149回目の創立記念日でした。清滝小学校は明治7年(1874年)に栃本と石井に小学校が設立されたところから始まります。来年の創立150年に向けて、新たな一步を刻んでいきたいと思ひます。



- ①明治時代 最古の校舎
- ②明治～大正時代ごろの校舎
- ③昭和8年完成の校舎
- ④昭和47年現在位置に移転
- ⑤平成9年完成の現校舎



## 環境体験学習—コウノトリの郷公園— 3年生

9月27日(水)、3年生が環境体験学習で、コウノトリの郷公園に出かけました。施設内では、野山にすむ生き物調査をしました。バッタ、コオロギ、カマキリ、カエルなどのたくさんの種類の生き物を見つけました。午後は、コウノトリを観察したり、コウノトリ文化館を見学し、さらに学びを深めました。

コウノトリは1日500gほどの生き物をえさにしているそうです。コウノトリが生きていくためには、たくさんの生き物が必要であり、その生き物をはぐくむ豊かな自然環境を守ることが大切です。自然体験学習を通して、人と自然の共生(きょうせい)について、考えを深めていきましょう。



## 1年生演劇ワークショップ

「非認知能力」(やり抜く力・自制心・協働性)の向上の取り組みとして、第2回1年生演劇ワークショップを、10月5日(木)に、清小ホールで行いました。今回は、お題の動き(かくれんぼ・雪合戦・魚つり・もちつきなど)を観客に伝える「何をやってるの?あてっこゲーム」を楽しみながら、「非認知能力」を高めていました。特に今回は、グループで話し合いジェスチャーを創作することが活動の中心でしたが、お互いの意見や考えをすり合わせ、一つのものをつくっていく過程のなかで、「非認知能力」が高まっていくと感じました。3学期には、第3回目が予定されており、子どもたちも楽しみにしています。



## 「断熱ワークショップ」に向けて

日高神鍋観光協会主催の「断熱ワークショップ」の開催が近づいてきました。この取り組みは、気候変動対策としてのCO2の排出削減や冷暖房経費の削減につながるだけでなく、子どもたちが気候変動問題をはじめとする地球環境について興味・関心を持ち、持続可能な社会の一員として行動するきっかけになってほしいと思っています。

開催日の10月22日(日)は、図書室の壁や天井に断熱材を入れたり、窓の断熱作業を行います。これによって、図書室がこれまで以上に、読書をしたり学習をしたりしやすい環境になると喜んでいます。当日、ご参加くださる親子の皆様には、大変お世話になりますが、よろしくお願いたします。

なお、「断熱ワークショップ」の完了後、11月のオープンスクールの折などに、保護者の皆様にも、図書室を公開し、ご覧いただきたいと考えています。

